

地域医療支援病院業務報告書

2023年 9月 8日

愛知県知事殿

開設者 住 所 愛知県刈谷市住吉町5丁目15番地
 氏 名 医療法人豊田会
 理事長 豊田 鐵郎

下記のとおり、2022年度の業務に関して報告します。

記

1 病院の名称等

名 称	医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院					
所 在 地	愛知県刈谷市住吉町5丁目15番地					
診 療 科 名	内科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、精神科、 脳神経内科、循環器内科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、 乳腺外科、小児外科、整形外科、リウマチ科、脳神経外科、心臓血管外科、 皮膚科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、放射線診断科、麻酔科、 放射線治療科、リハビリテーション科、病理診断科、歯科、歯科口腔外科 計 30科					
病 床 数	精 神	感 染 症	結 核	療 養	一 般	合 計
	0	6	0	0	698	704

2 施設の構造設備

施 設 名	設 備 概 要
集 中 治 療 室	(主な設備) 人工呼吸器、PCPS、IABP、超音波診断装置、透析装置、 除細動器、生体情報管理システム、体外式ペースメーカー、心電計、 ポータブルX線撮影装置 ICU:10床 / CCU:4床 / NICU:3床 病床数 17床
化 学 検 査 室	(主な設備) 検体搬送システム、生化学自動分析装置、多項目自動血球分析装置
細 菌 検 査 室	(主な設備) 迅速微生物同定検査装置、全自動遺伝子解析装置、血液培養自動分析装置
病 理 検 査 室	(主な設備) 自動標本作成装置、病理細胞診検査業務支援システム、全自動免疫染色装置
病 理 解 剖 室	(主な設備) 解剖台、遺体保冷庫
研 究 室	(主な設備) パソコン、プロジェクター、高精細モニター、大型液晶モニター
講 義 室	室数 5 収容定員 303 人
図 書 室	室数:1室 蔵書数:10,257冊程度
救 急 用 又 は 患 者 搬 送 用 自 動 車	(主な設備) 別紙A:救急用又は患者搬送用自動車の主な設備 別紙B、C:参考資料 保有台数 1 台
医 薬 品 情 報 管 理 室	[専用室の場合] 床面積 82.29 m ² (D1室) [共用室の場合] 室と共用

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 規則第9条の2第1項各号に掲げる事項を記載した書類を添付すること。

別紙 1

紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

1 算定期間 2022年 4月 1日 ~ 2023年 3月 31日

2 紹介率 69.0 % 資料1-1：紹介率

紹介患者の数 (A)	初診患者の数 (B)	紹介率 (A/B×100)
19,505 人	28,257 人	69.0 %

3 逆紹介率 83.8 % 資料1-2：逆紹介率

逆紹介患者の数 (C)	初診患者の数 (B)	逆紹介率 (C/B×100)
23,696 人	28,257 人	83.8 %

※1 各人数については、前年度の延べ人数を記入すること。

※2 紹介率及び逆紹介率は、小数点以下第1位まで記入すること。

※3 紹介率が80%以上であることを承認の要件とする場合で、紹介率が65%以上80%未満の病院にあつては、今後、2年間で紹介率を80%以上とするための具体的な年次計画を明らかにする書類を添付すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

共同利用の実績
(地域の医療従事者による診療、研究又は研修のための利用)

1 共同利用の実績

- ・ 共同利用を行った医療機関の延べ機関数 5,956件
- ・ 申請者と直接関係のない医療機関の延べ機関数 5,955件
- ・ 共同利用に係る病床の病床利用率 51.1%

資料2-1：2022年度 共同利用実績

※1 前年度の共同利用を行った医療機関の延べ機関数、これらの医療機関のうち申請者と直接関係のない医療機関の延べ機関数、共同利用に係る病床の病床利用率等を記入すること。

2 共同利用の範囲等

【共同利用に関する医療機器】

コンピュータ断層撮影装置(CT)、磁気共鳴画像診断装置(MRI)、ラジオアイソトープ検査装置(RI)、X線一般撮影装置、ポジトロン断層撮影装置(PET-CT)、上部消化管内視鏡検査、心エコー検査、下部消化管レントゲン検査、トレッドミル運動負荷心電図検査、ホルター心電図検査、脳波検査、ホルター血圧検査、一般肺機能検査、骨塩定量検査、マンモグラフィ、超音波検査、12誘導心電図、ABI検査、ABPM

【共同利用に関する施設】

図書室、会議室(5室)、研究室、共同利用病床(5床)

※2 病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象としたものを記入すること。

共同利用に関する規程	有 ・ 無
利用医師等登録制度の担当者	氏 名
	職 種
	医師 (患者サポートセンター長)

※3 共同利用に関する規程がある場合には、当該規程の写しを添付すること。

共同利用に関する規定：資料2-2～2-8

4 登録医療機関の名簿

医 療 機 関 名	開設者名	住 所	主たる診療科	申請者との経営上の関係
470 施設		別紙参照 (資料2-9a, 2-9b)		

※4 申請に係る病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関についてのみ記入すること。

5 常時共同利用可能な病床数 5床

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

救急医療提供の実績

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職 種	氏 名	勤 務 の 態 様	勤 務 時 間	備 考
別紙参照(資料3)			[常勤 [専従 [非常勤 [非専従		

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	名称 (ICU・CCU・NICU)	17 床
専用病床	名称 (救命救急センター)	16 床

※ 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記入すること。

3 重症救急患者に必要な検査又は治療を行うために必要な診療施設の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要	24時間使用の可否
救命救急センター	1,019.18 m ²	(主な設備) 人工呼吸器/超音波画像診断装置/除細動器 生体情報管理システム/体外ペースメーカー 血液ガス分析装置/持続緩徐式血液浄化装置	可
救急処置室	193.08 m ²	(主な設備) PCPS/超音波画像診断装置/人工呼吸器 除細動器/生体情報モニター 心臓マッサージシステム	可
ICU・CCU・NICU	ICU 451.51 CCU 79.34 NICU 41.56 m ²	(主な設備) 人工呼吸器/PCPS/IABP/超音波画像診断装置 透析装置/除細動器/生体情報管理システム 心電図/体外ペースメーカー ポータブルX線撮影装置/血液ガス分析装置	可
放射線検査室 (撮影室)	1,087.84 m ²	(主な設備) コンピュータ断層撮影装置(CT)/磁気共鳴画像診断装置(MRI)/X線一般撮影装置 ポータブルX線撮影装置 超音波画像診断装置	可
アンギオ室	408.63 m ²	(主な設備) 多目的血管撮影装置:2台/IVUS/OCT 心臓血管撮影装置:1台/IABP/ ロータブレーター	可
臨床検査室	1,538.84 m ²	(主な設備) 生化学自動分析装置/血液ガス分析装置 多項目自動血球分析装置/全自動同定感受性検査システム/全自動化学免疫測定装置 全自動輸血検査装置/超音波診断装置 解析付心電計	可

手術室 (3階+4階)	2,217.71 m ²	(主な設備) 手術室：12室 内視鏡手術支援ロボット/人工心肺装置 移動型X線透視診断装置/超音波凝固切開装置/除細動器/内視鏡システム手術用顕微鏡システム/全身麻酔器/ポータブルX線撮影装置/超音波画像診断装置	可
内視鏡センター	674.08 m ²	(主な設備) 内視鏡検査室：4室/X線透視診断装置：3室 内視鏡システム/内視鏡ビデオスコープ(胆膵・超音波・気管支・消化管等)：74本 高周波手術装置/アルゴンプラズマ凝固装置	可

4 救急医療の提供の実績

救急用又は患者搬送用の自動車により搬入した救急患者の延べ数	8,718 人 (3,364 人)
上記以外の救急患者の延べ数	14,284 人 (2,966 人)
合計	23,002 人 (6,330 人)

※ () 内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

5 保有する救急用又は患者搬送用の自動車の出動回数 2 回

6 備考

救命救急センター (平成23年4月1日)

※特定の診療科において、重症救急患者の受入れ体制を確保する場合は、その旨を記入すること。

既に、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第8号)に基づき知事の救急病院の認定を受けている病院及び「救急医療対策の整備事業について」(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

1 研修の内容

資料4-1：「地域医療研修プログラム」参照

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	19回
(2) (1) の合計研修者数	373人

資料4-2：「地域医療研修計画日程表」参照

※ 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

(1) 研修プログラムの有無 有・無

(2) 研修委員会の有無 有・無

資料4-3：「地域医療支援研修委員会規程」参照

(3) 研修指導者

氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験年数	備考
資料4-1：「地域医療研修プログラム」参照					

※ 研修責任者については、備考欄にその旨を記入すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
第1・2・3会議室	329.84 m ²	(主な設備) プロジェクター、スクリーン、パソコン、ホワイトボード、AV機器、机、261席
第4会議室	51.13 m ²	(主な設備) プロジェクター、スクリーン、パソコン、ホワイトボード、机、24席
第5会議室	31.71 m ²	(主な設備) プロジェクター、スクリーン、パソコン、ホワイトボード、机、18席
研究室 (第6会議室)	46.28 m ²	(主な設備) プロジェクター、高精度モニター、パソコン、大型液晶モニター、AV機器、ホワイトボード、机、24席

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

1 管理責任者等

	氏 名	職 種	役 職 等
管理責任者の 氏名、職種、役職等		医 師	病院長
管理担当者の 氏名、職種、役職等		事 務	患者サポートセンター 地域連携室 副室長

2 諸記録の保管場所及び分類方法

		保 管 場 所	分 類 方 法
診療に関する 諸記録	病院日誌	情報企画室サーバ 総務室	日付順
	各科診療日誌	情報企画室サーバ 診療部・看護部	日付順
	処方せん	電子カルテサーバ 薬剤部	患者日付順
	手術記録、看護記録、検査所見記録	電子カルテサーバ	患者日付順
	エックス線写真	電子カルテサーバ 放射線技術科	患者日付順
	紹介状	電子カルテサーバ 地域連携室	患者日付順
	退院した患者に係る入院期間中の診療 経過の要約	電子カルテサーバ 診療情報部	患者日付順
病院の管理及び運 営に関する諸記録	共同利用の実績	地域連携室	日付順
	救急医療の提供の実績	地域連携室	日付順
	地域の医療従事者の資質の向上を図る ための研修の実績	地域連携室	日付順
	閲覧の実績	地域連携室	日付順
	紹介患者に対する医療提供及び他の病 院又は診療所に対する患者紹介の実績 の数を明らかにする帳簿	地域連携室	日付順

※ 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の
閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者	氏名		職種		役職等	
			医師		副院長 患者サポートセンター長	
閲覧担当者	氏名		職種		役職等	
			事務		患者サポートセンター 地域連携室 副室長	
閲覧場所	地域連携室、図書室、 KTメディネット（地域医療ネットワークシステム）					
総閲覧件数	医師	歯科医師	地方公共 団体	その他	合計	
	35,639	258	0	0	35,897	
資料6-1：「KTメディネットによるカルテ閲覧実績」						
閲覧手続の概要	<p>【来院しての閲覧】 事前に「諸記録閲覧申請書」にて地域連携室へ申請</p> <p>診療録： 図書室にて閲覧担当者同席のもと、閲覧 （電子カルテで閲覧する場合は当院指定利用者IDを使用）</p> <p>管理及び運営に関する諸記録： 地域連携室にて閲覧担当者より諸記録を提示</p> <p>【KTメディネットによる閲覧】 別紙参照 資料6-2：「地域医療ネットワークシステム運用管理規程」 資料6-3：「診療情報提供に関する同意書」 資料6-4：「診療情報提供に関する不同意書」 資料6-5：「診療情報提供に関する同意説明」</p>					

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の開催の実績

1 委員会の開催回数 4回

2 委員会における議事の概要

資料7-1：地域医療支援委員会 委員名簿 参照

「2022年度第1回(通算第27回)刈谷豊田総合病院 地域医療支援委員会」

日時：2022年5月12日 Web (Zoom) 開催

【議事の概要】

資料7-2：第27回 地域医療支援委員会 議事録 参照

- ・登録施設制度登録状況報告
- ・共同利用（医療機器、病床）運用状況報告
- ・地域医療支援研修実績報告
- ・刈谷豊田総合病院の実績（紹介・逆紹介、救急医療提供体制）報告
- ・消化器内科の内視鏡治療について

「2022年度第2回(通算第28回)刈谷豊田総合病院 地域医療支援委員会」

日時：2022年8月4日 Web (Zoom) 開催

【議事の概要】

資料7-3：第28回 地域医療支援委員会 議事録 参照

- ・登録施設制度登録状況報告
- ・共同利用（医療機器、病床）運用状況報告
- ・地域医療支援研修実績報告
- ・刈谷豊田総合病院の実績（紹介・逆紹介、救急医療提供体制）報告
- ・当院で受けられる高精度放射線治療について

「2022年度第3回(通算第29回)刈谷豊田総合病院 地域医療支援委員会」

日時：2022年11月10日 Web (Zoom) 開催

【議事の概要】

資料7-4：第29回 地域医療支援委員会 議事録 参照

- ・登録施設制度登録状況報告
- ・共同利用（医療機器、病床）運用状況報告
- ・地域医療支援研修実績報告
- ・刈谷豊田総合病院の実績（紹介・逆紹介、救急医療提供体制）報告
- ・当院での甲状腺癌手術について
- ・地域医療ネットワークシステム「KTメディネット」無料展開について

「2022年度第4回(通算第30回)刈谷豊田総合病院 地域医療支援委員会」

日時：2023年2月2日 Web (Zoom) 開催

【議事の概要】

資料7-5：第30回 地域医療支援委員会 議事録 参照

- ・登録施設制度登録状況報告
- ・共同利用（医療機器、病床）運用状況報告
- ・地域医療支援研修実績報告
- ・刈谷豊田総合病院の実績（紹介・逆紹介、救急医療提供体制）報告
- ・過活動膀胱、切迫性尿失禁の治療について
- ・5Gを活用した救急医療分野のフィールド実証について
- ・刈谷豊田総合病院からの情報発信ツールについて

患者相談の実績

患者相談を行った場所	患者サポートセンター 総合相談室		
患者相談担当者	氏名	職種	役職等
		社会福祉士	総合相談室 室長
		事務	患者相談G リーダー
		看護師	患者相談G 相談員
		看護師	患者相談G 相談員
	社会福祉士	医療福祉G 相談員	
患者相談件数	5,975件		
患者相談の概要			
○総合相談室（医療福祉G）		○総合相談室（患者相談G）	
心理・社会的問題	2,052件	施設案内／駐車場	875件
退院援助	5件	受診手続き	614件
受診・受療援助	359件	受診科相談	219件
経済的問題	186件	不安、受診相談	458件
社会復帰援助	10件	患者支援（介助等）	193件
		医療相談（医療費・書類）	41件
		健康・療養・介護相談	338件
		その他	625件
相談件数小計	2,612件	相談件数小計	3,363件
資料8-1：2022年度相談事例概要(医療福祉G)		資料8-2：2022年度相談事例概要(患者相談G)	

※ 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

居宅等における医療の提供の推進に関する支援の状況

居宅等医療提供施設等における連携の緊密化のための支援等の実績

①訪問看護ステーションとの連携の緊密化

入退院支援室の専任退院支援者が地域の訪問看護ステーションと連携を図り、在宅療養に移行する患者の相談や情報共有などが円滑に行われるよう支援を行っている。

また、当院と地域の訪問看護ステーション間での連携をよりよくするために、訪問看護ステーションとの連携会議（1回/年）のほか、随時連絡を取り合い、連携上の問題点などについて検討を行っている。

②在宅医療に関わる医療・介護施設との連携の緊密化

入院患者が安心して自宅に戻ることができるように、退院時共同カンファレンス（2022年度実績：77件）およびケアマネージャーとの情報交換会（1回/年）を行い、円滑に在宅療養に移行できるよう支援を行っている。また、当院医師が主治医となっている在宅療養患者について、療養上の問題が起きた場合、在宅療養サービス提供者（訪問看護師やケアマネージャーなど）が主治医とタイムリーに連絡がとれるように、担当医連絡票を活用した連絡体制を構築している。

医療を受ける者又は地域の医療提供施設に対する情報の提供の実績

①医療を受ける者または代理者（訪問看護師や介護支援専門員からの在宅医療に関する問い合わせ含む）への情報提供

- ・担当医連絡票による情報提供 : 550件（2022年度）
- ・入退院情報連絡シートによる情報提供 : 937件（2022年度）

②医療施設への情報提供

地域で療養生活を継続する患者に適切な医療が提供されるよう、当院医師から医療施設への情報提供（診療情報提供書：25,939件/2022年度）をはじめ、訪問リハビリテーションおよび訪問看護ステーションへ情報提供（訪問リハビリ指示書：47件/2022年度・訪問看護指示書：1,170件/2022年度）を行っている。また、継続看護の提供を目的に当院看護師から連携先医療機関・老人介護施設・訪問看護ステーション等へ看護要約（384件/2022年度）による情報提供を行っている。

③KTメディネットによる地域医療機関への情報提供

KTメディネットはICTを活用した地域医療ネットワークシステムであり、地域医療機関からの紹介患者や当院からの逆紹介患者、個別同意を得られた患者について、当院の電子カルテに記録されている医師診療記録、画像を含む検査データなどを専用のネットワークにより、地域医療機関から常時参照が可能なシステムである。転院や転医に際して、患者情報を共有でき、「病-診連携」、「病-病連携」において効果を発揮している。また、接続している地域医療機関からは、KTメディネットを利用して検査や診察の予約取得ができ、患者にとって有効な連携ができています。2023年3月31日時点のKTメディネット連携施設は245施設である。

④地域の医療機関・介護事業所に向け、地域連携に関する情報や研修開催について案内する広報誌を発行している。

その他居宅等における医療の提供の推進に関し必要な支援の実績

①ケアマネージャーとの連携の促進

刈谷市長寿課、地域包括支援センター、ケアマネ連絡協議会と共に『刈谷豊田総合病院と介護支援専門員との連絡協議会』（2回/年）を開催し、当院とケアマネージャーとの連携上の問題点について協議し、連携の強化を図っている。連絡協議会のなかで「刈谷豊田総合病院と介護支援専門員との連携マニュアル」（資料9：刈谷豊田総合病院と介護支援専門員との連携マニュアル 第8版）の作成および見直しを行い、相互の連携を円滑に行う仕組み作りをしている。また、当院とケアマネージャーの双方で連携に関するアンケートを必要時に実施し、連携状況の評価と問題点について検討し、よりよい関係性の構築に努めている。マニュアル内容に関しては、連絡協議会にて検討した事項を改訂し、常に最新情報を双方が把握できるようにしている。なお、「刈谷豊田総合病院と介護支援専門員との連携マニュアル」は、病院ホームページに掲載し、いつでもダウンロードができるようにしており、マニュアルの活用も推進している。

②在宅療養患者症例検討会の開催

例年は医師、看護師、介護支援専門員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等多職種で、当院より在宅療養に移行された患者の症例検討会を実施し、支援状況の報告や意見交換を行い、よりよい在宅医療支援に繋げている。ただし、2021年度・2022年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で症例検討会の開催を自粛したため実施していない。

③地域医療機関および介護施設に勤務する医療従事者対象の研修開催

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、当初予定していた4講座の研修はやむを得ず中止としたが、会場の感染対策ならびにリモート開催の準備を整えた上で、2022年度は19講座の研修を開催した。院外より、延べ169名に参加頂いた。（資料4-2：「地域医療研修計画日程表」参照）

④行政や医師会在宅サポートセンターとの連携強化

市役所や保健所で開催される多数の医療・介護に関する会議に当院職員が出席し、急性期病院として地域医療に貢献できるように連携を図っている。連携の具体例として、刈谷医師会および刈谷市長寿課と共同で「在宅医療連携研修会」を毎年開催出来るよう活動している。

その他地域医療支援病院に求められる取組みの状況

1 連携体制を確保するための専用の室、担当者

専 用 の 室 の 名 称	患者サポートセンター 地域連携室		
担 当 者	氏名	職種	役職等
		事務	患者サポートセンター 地域連携室 副室長

2 病院の機能に関する第三者による評価

評 価 を 行 っ た 機 関 名	公益財団法人 日本医療機能評価機構		
評 価 を 受 け た 時 期	2023年6月15日～2028年6月14日		
	資料10-1, 10-2 : 認定証		

※ 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

3 退院調整部門の取組

退院調整部門の実績	資料10-3 : 2022年度_専任退院支援配置
<p>入退院支援室に退院支援者として看護師6名、MSW7名を配置。</p> <p>全病棟に専任退院支援者を配置している。入院早期に専任退院支援者がスクリーニングを行い、退院調整が必要な患者を抽出し、病棟と情報共有している。2018年4月からは入院時支援を行った定期入院患者を対象に、退院困難要因のある患者に関する情報を入院前より把握して、退院支援に着手する準備を行っている。患者および家族と面談後、病棟専任退院支援者・退院支援部門看護師・MSW・病棟看護師による4者カンファレンスを実施し、退院支援計画について協議し、病棟と協働で退院支援に取り組んでいる。2022年度の実績は下記の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクリーニング件数 : 16,149件/年 ・退院支援介入件数 : 6,586件/年 ・4者カンファレンス件数 : 13,122件/年 ・入院時支援件数 : 1,546件/年 <p>在宅退院に向け、地域医療機関や在宅支援関連部門、行政などと適宜面会を実施している。2022年度の面会総数は918件。3回以上の面会があったのは82施設で計578件。</p>	
	資料10-4 : 2022年度_面会記録

4 地域連携を促進するための取組みの実績

策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容

- | | |
|-----------------------------|--------------|
| ・大腿骨頸部骨折地域連携パス | : 一方向型地域連携パス |
| ・脳卒中地域連携パス | : 一方向型地域連携パス |
| ・がん地域連携パス (肺・乳腺・胃・肝・大腸・前立腺) | : 循環型地域連携パス |
| ・狭心症・心筋梗塞地域連携パス | : 循環型地域連携パス |
| ・心房細動アブレーション地域連携パス | : 循環型地域連携パス |
| ・心不全地域連携パス | : 循環型地域連携パス |
| ・糖尿病地域連携パス | : 循環型地域連携パス |
| ・CKD地域連携パス | : 循環型地域連携パス |
| ・精神身体合併症連携パス | : 刈谷病院との連携パス |

地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み

《地域連携パスの活用》

医療の機能分化を推進するために積極的に地域連携パスを活用している。大腿骨頸部骨折、脳卒中、がん（肺・乳腺・胃・肝・大腸・前立腺）、狭心症・心筋梗塞、心房細動アブレーション、心不全、糖尿病、CKDの8種類の地域連携パスを運用している。また、地域連携パスの円滑な運用と改善を目的に会議の開催や連携先訪問を実施している。

- ・運用されている6種類の地域連携パスの運用状況報告と検討
地域連携パス推進部会 4回/年（会場開催：3回、書面開催：1回）
- ・大腿骨頸部骨折地域連携パス・脳卒中地域連携パスの運用状況報告と検討
地域連携パス情報交換会 3回/年（会場開催：1回、書面開催：2回）
- ・がん地域連携パス（肺・乳腺・胃・肝・大腸・前立腺）、狭心症・心筋梗塞地域連携パス
地域連携パス推進のための医療機関訪問 2022度 25件/年

5 病院が果たしている役割に関する情報発信の実績

情報発信の方法

ホームページ、病院広報誌、(医心伝心)、地域連携広報誌（地連ほっとLINE）、院内掲示、配布用リーフレットの配置、インスタグラム、LINE

内容等の概要

ホームページ：病院概要、診療科・部門紹介、診療実績、受診方法、
医療の知恵袋（市民公開講座） 他

病院広報誌（医心伝心）：患者向け広報誌
トピックス紹介、疾病についての解説や予防のポイント、
在宅療養・福祉関連情報提供 他

地域連携広報誌（地連ほっとLINE）：医療機関および医療従事者を対象としたトピックス紹介、
地域医療連携に関する情報提供、研修・セミナー案内 他

院内掲示（ポスター、デジタルサイネージ）、配布用リーフレット：来院者向けのお知らせ
インスタグラム、LINE：病院からのお知らせ、地域医療連携推進のための案内 他